

採血用穿刺器具（針の周辺部分がディスポーザブルタイプでないもの）の使用状況について

医学部保健学科の演習（授業）において、採血用穿刺器具（以下「採血器具」という。）の使用に関し、極めて遺憾な取扱いが確認されました。深くお詫びを申し上げるとともに、次の状況が判明しましたのでお知らせいたします。

1. 使用の状況

- 医学部保健学科看護学専攻では、成人臨床看護学演習（3年次生前期）で、学生が血糖値測定するために「針の周辺部分がディスポーザブルタイプでない測定器（個人用）」を使用していた。
- 採血に当たっては、針は一人ひとり交換して行っていたが、針の周辺部については、複数名の学生が消毒しないまま使用していた。

＜採血器具が使われた年度，対象学生等＞

区 分	卒業・在学別	対象学生（受講生）	備 考
平成8年～平成13年度	卒業生	5人程度×6年 約30人	デモンストレーションとして学生数人に実施
平成14年度	同 上	58人	平成14年度からは学生全員に実施 1台の採血器具を5～6人で使用
平成15年度	同 上	55人	
平成16年度	同 上	67人	
平成17年度	同 上	68人	
平成18年度	同 上	59人	
平成19年度	在学生	57人	
平成20年度	同 上	66人	

合 計 約460人（卒業生約337人，在学生123人）

＜使用した採血器具，使用期間＞

採血器具名（製造販売業者）	使用 期 間	備 考
ユニレッターⅡ（バイエルメディカル社）	平成8年4月～平成15年3月	
ソフタック（アボット社）	平成15年4月～平成17年3月	穿刺機器のタイプはMediSense，ランセットデバイス（アボット社）
MediSense Precision Xtra（アボット社）	平成17年4月～	

2. 今後の対応

- 在学生には、6月10日（火）に状況の説明を行い、血液検査を依頼した。
- 卒業生には、文書にてお知らせし、在学生と同様に血液検査を依頼する。